

令和 7 年 中間市農業委員会総会（1 2 月）議事録

1. 開催日時 令和 7 年 1 2 月 1 0 日（水） 1 6 時 0 0 分開会～1 7 時 1 5 分閉会
2. 開催場所 中間市役所別館 3 階 特別会議室
3. 出席委員 6 名 会長 柴田 功 2 番 白橋 宏 3 番 貞末 重雄
4 番 日高 靖 5 番 植本 壽 6 番 井上 俊子
4. 推進委員 3 名 丸山 政和 小西 一史 田中 久光
5. 傍聴者 0 名
6. 事務局 4 名 宮崎事務局長 花田補佐 坂本 熊井
7. 議事日程について
議案第 24 号 農地法第 3 条の規定による許可について（利用権設定）
議案第 25 号 農地平均賃借料の決定について
協議事項第 1 号 農業委員の改選等について

【議事内容】

〇〇議長：ただいまの出席委員は 6 名で委員定数の過半数に達しております。よって、令和 7 年 1 2 月の農業委員会は成立いたしました。それでは本日の会議を始めたいと思います。本日の日程は、お手元の議案書の要領で進行いたしますのでよろしくお願いいたします。

報告についての議題はありませんので議決事項を議題といたします。

議案第 24 号「農地法第 3 条の規定による許可について（利用権設定）」を議題といたします。それでは提案理由の説明を求めます。

事務局：資料の 1 ページをご覧ください。議案第 24 号「農地法第 3 条の規定による許可について（利用権設定）」について説明します。

農地の所在中間市大字上底井野字正應寺〇〇〇〇外 1 筆。合計面積 2,010 m²。貸付人〇〇〇〇。住所北九州市八幡東区春の町〇〇〇〇。借受人〇〇〇〇。住所中間市大字下大隈〇〇〇〇。こちらの農地の位置図及び写真につきましては 3 ページに載せていますのでご確認をお願いします。

今回の申請地は位置図にありますとおり、市街化区域となりますので近隣は住

宅地となっております。対象地の上の方も農地となっております。現在は〇〇〇〇が耕作しておりますが、今後はこちらも〇〇〇〇が耕作する予定となっております。資料 2 ページをご覧ください。

農地法第 3 条の農地の権利移動は、同条第 2 項に全て該当しない場合が権利移動を受けられますので調査書の結果をご報告します。第 2 項第 1 号全部効率利用。譲受人の経営農地は全て耕作されており、保有している機械の能力、農作業に従事する状況等からみて、耕作の事業に供すべき農地の全てを効率的に利用できるものと見込まれるため該当いたしません。第 2 項第 2 号農地所有適格化法人以外の法人。譲受人は個人であり、法人では無いため該当いたしません。第 2 項第 3 号信託。こちらは信託ではないので該当いたしません。第 2 項第 4 号農作業常時従事。譲受人は農作業を行う必要がある日数について農作業に従事すると見込まれますので該当いたしません。第 2 項第 5 号転貸禁止。許可申請に係る農地は、貸付人の所有農地であり転貸には当たりませんので該当いたしません。第 2 項第 6 号地域調和。申請地では、水稻の作付を行い、本件の権利取得により周辺農地の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障は生じないものと考えられます。地元農業委員の〇〇委員と地元推進委員の〇〇推進委員、事務局で対象農地の現地調査を行い、周辺の農地の利用状況等を確認していますのでこちらも該当いたしません。説明は以上です。

〇〇議長：はい。ただいま事務局の説明がありましたが、本件について、ご意見ご質問等はありませんか。

〇〇議長：無いようですので採決に入ります。

本件について賛成の方は挙手をお願いします。

はい、ありがとうございます。

全員賛成のため、原案のとおり承認されました。これで議案第 24 号を終わります。

〇〇議長：続きまして、議案第 25 号「農地平均賃借料の決定について」を議題といたします。それでは提案理由の説明を求めます。

事務局：はい、資料 7 ページをお開きください。

議案第 25 号「農地平均賃借料の決定について」です。

議案第 25 号は総会資料に加え、「参考資料①、②」と「農地の賃借料情報提供の手引き」を使って説明いたします。

平均賃借料とは、農地法が平成 21 年度に一部改正され、標準小作料制度が廃

止となったことから、農業委員会で農地の平均賃借料を決定し、農地の賃貸借を行う際の参考としてもらうものとなります。

毎年1月から12月までに利用権が締結された賃貸借の10a当たりの賃借料の平均値を算出して翌年の平均賃借料としております。

今回、手引き4ページに基づいて、本市の地域区分を上底井野、中底井野、砂山、垣生、下大隈の市街化調整区域内における農地として令和7年中に締結した賃貸借の賃借料を算出したものが参考資料のとおりとなっております。

今回、賃借料の案として2通り作成しております。

これは、令和7年度の平均賃借料までは、使用貸借で契約している分は0円として件数に含めて算定しておりましたが、近隣では使用貸借は含めずに算定しているため、本市でも今後この取り扱いを同様とするか皆様に判断してもらうためです。

参考資料①をご覧ください。案1は今までどおり使用貸借を0円として件数に含めて算定したものです。令和7年1月から12月までに利用権が締結された総件数が214件。賃借料の最大値は11,000円、最小値は0円となっております。

次に、農地の賃借料情報提供の手引き10ページをご覧ください。特殊な取引によるデータは全賃借料データの平均値のプラスマイナス70%を超えるものは除外することとなっております。

参考資料①に記載している計算結果のとおり、全賃借料データの平均値は5,557円。この平均値に70%プラスした額は9,446円で、この金額を超える件数は116件。平均値の70%マイナスした額は1,667円でこの金額以下の件数は94件となります。

この特殊取引を除外した後のデータ件数は4件。最大値8,000円、最小値5,000円で平均賃借料は10円以下を切り捨てた5,700円となり、令和7年度の平均賃借料10,100円から4,400円減額となっております。

総会資料8ページと参考資料②をご覧ください。案2は使用貸借を除いて算定したものです。

令和7年1月から12月までに利用権が締結された件数から使用貸借となっている94件を除外し、総件数は120件。賃借料の最大値は11,000円、最小値は5,000円となります。

次に、手引き10ページをご覧ください。特殊な取引によるデータは全賃借料データの平均値のプラスマイナス70%を超えるものは除外することとなっております。

参考資料②に記載している計算結果のとおり、全賃借料データの平均値は9,909円。平均値に70%プラスした額は16,846円でこの金額を超える件数は

0 件。平均値に 70%マイナスした額は 2,973 円でこの金額以下の件数は 0 件となります。

この特殊取引を除外した後のデータ件数は 120 件。最大値 11,000 円、最小値 5,000 円で平均賃借料は 10 円以下を切り捨てた 9,900 円となります。

今回、皆様で来年度の賃借料について事務局から提案している案 1、案 2 のどちらにするかという話し合いと物納の目安についてもお検討いただければと思います。説明は以上です。

〇〇議長：はい。ただいま事務局の説明がありましたが、本件について、ご意見ご質問等はありませんか。

〇〇委員：案 1 は件数が 4 件。案 2 は 120 件でしょう。案 1 はサンプル数が少なすぎるのではと思います。

〇〇議長：何かほかにご意見は無いでしょうか。確かに、案 1 の賃借料 5,700 円というのは農家にとってはありがたい金額でしょうけど、急激に下がりすぎるのはというのと、米価も上がってるからですね。

事務局：今年の平均賃借料が 10,100 円で提示しております。事務局としても案 1 だと大きく下がりすぎではというところです。

〇〇委員：案 1 だと所有者の方としては納得しにくいと思います。

事務局：近隣に確認したところ、まだ、算定はしていないとのことですが、今年度と変わらないくらいで大体 10,000 円前後となる想定とのこと。

〇〇委員：案 2 が妥当かなと思います。

あとは物納の玄米のキロ数ですね。今の現状では金納と物納で金額的に合わないですね。10,000 円で 50kg 買えるのかということです。実際、今は買えないですね。

〇〇議長：売る人によるんでしょうけど、農協は 1 等コシヒカリで玄米で 15,000 円くらいですかね。

〇〇委員：物納の方が所有者としてはメリットが大きいとみられますよね。だから、金納と同等とするなら 30kg くらいに下げないとと思うんですね。ま、でもそ

こは皆さんで話して決めてもらえたらと。あくまで目安ですもんね。

〇〇議長：以前もこの件を上げてもらったときも話したんですが、本来この場で決めるべきでは無いんですが、目安として出してくれとの意見があったので昨年くらいからこういう形で提案させてもらってます。

あくまでも目安で、相対の物納の時ですよ。ただ、今年は米価が高かったけれど来年はどうなるか分からないから、この部分をコロコロ変えるのもどうかというところです。ニュースとかでは来年は下がるだろうとの話もあるみたいですから。今回話しているのは来年1月以降の目安として決めるものです。まず最初に金納の分について案1と案2のどちらにするかですね。案2でいくなら今後は契約件数によって金額が上がる可能性もありますが。

〇〇委員：今年はいくらだったんですかね。

事務局：10, 100円です。案2だと200円マイナス。案1だと4400円になります。

〇〇委員：案1だとちょっと。農業者は嬉しいですけどね。

〇〇議長：過去にもあったんですけど。あまりにも下げすぎると他地区の人に貸した方が高いとかで所有者がそちらに貸すことが出てくる可能性もあります。

〇〇委員：案2の方が波風立たずに行くと思います。ただ、物納の分は45～50 kgだとちょっと。金額からすると30 kg位を目安として出していた方がいいかなと思います。あとは双方で話して決めてもらうわけですから。近隣の物納はどんな感じですか

事務局：近隣は、来年度についてはまだ算定はしていないということでした。遠賀町はHPに記載しているとおり物納で35 kg。鞍手町は45 kg。水巻町、芦屋町、岡垣町は物納については提示しておらず、金納のみとのことでした。

〇〇委員：そもそも。この案1と案2でこんなに変わるの。

〇〇議長：この算定方法は分かりにくいですよ。事務局、かみ砕いて説明できますか。

事務局：平均値を出す時の件数が使用貸借を含めた場合は多くなるので差がでていま

す。昨年より契約件数が多くなっていて、かつ、その中で使用貸借の0円が多いのでそれが原因かと思います。

〇〇委員：現実的に10,000円でかして、今年も10,000円で契約しました。で来年から5,000円になりましたといっても誰も納得しないですね。計算方式がおかしいのかなと思ってしまいます。

〇〇議長：私に分かる範囲で説明します。1年間で契約した件数となります。過去の分は関係ありません。案1は使用貸借を含めて平均値を算出しており、案2は使用貸借の件数は含めないで平均値を算出する。その後、最小値と最大値は除外するので金額に差が出ます。それであつとるよね。

事務局：はい。案2は最初から使用貸借を除く。案1は使用貸借を含める。案2は割る数が少なくなるので平均値が上がるということになります。

〇〇委員：この特殊取引データが4件とかなってますけど。今後もし、1件とか0件とかになったらどうなるの。0件だったら0円になりますよね。そんなのあり得ないと思います。

〇〇継続：それもですが、前から言っていました、米の量とかを入れるとか話し出したのが間違い。表示してないところが多いのに、近隣が表示しているからといって言い出したでしょ。それは借りてる人がしやすいように言い出したことでほかの人たちは何も言ってないでしょ。まだ45kgとか言いよるけど昔から預かってる人は農協を通して契約していたのが中間管理機構に変わって使用貸借として契約している。そういう人たちは1反60kgとかで払っているんじゃないですか。今年1反60kgぐらいとして仮払いで29,000円くらいとしたら、1反1万で所有者が納得しますか。物納で米をもらうんやったらいいけど、10年1万円で契約して、米の値段が下がらんやったらずっと1万円やんかと思うかもしれないよ。そうなったら解約して個人間で預けた方が話しやすいと言うかもしれないよ。

〇〇議長：そうですね。

〇〇継続：田んぼの値段を落とすばかりやなくて、ある程度守ってやらんと。今貸してる人たちもそんなもん出し切らんよってなります。中間管理機構は今大体1万から9,000円くらいでしてると思います。10年契約では先々下がるやろうと言

うことで大体 10,000 円きくらいですときてますよね。でも今の田んぼの値段では米の値段が上がってきたとき、田んぼ貸してる人達からしたら「とても儲かっているのに俺たちには何も無いんやね」とか言う話もちらほら出てくるんじゃないですか。

〇〇議長：所有者からしたらそう思われる方もいると思います。

〇〇継類：地主の人たちの代が変わってそんなことという人もいなくなってきたから、それで収まってるけど、理屈の分かる人が出てくれば「あなたのところには貸さんよ、途中で解約してもいいんよ」という人も出てくるかもしれませんよ。

〇〇議長：そうなったら今までの集積とか集約とか壊れてきますよね。

〇〇継類：だから農業委員会が国が進めている集積を進めていくのであれば、今借りてる土地をみんなで預かっていって、みんながしやすいように分配していこうっていうやり方でしょう。それを守っていくためにはある程度田んぼの値段も必要だと思います。物納とかのkg数を減らしていくとかではなくて。自分たちばかり儲かって、地主達にはお金が入ってこないじゃないかとか。昔はこんくらいもらえよったけど今は 40 kgとか 35 kgとかやったらね。こんなんやったらよそに貸した方がいいってなりますよ。いい条件の方に貸すって。

〇〇議長：その可能性はあります。うちは隣接している地域が多いので近隣の農業者の方が条件がいいってことで貸していることもあります。

〇〇議長：私の個人の意見としては案 2 でいくのが妥当だと思いますが、まず、皆さんで平均額について決めたいと思いますがどう思いますか。そのあと物納について話しましょう。賃借料についてはどうですか。何かご意見は無いでしょうか。

〇〇委員：案 1 だったら賃借料が安すぎるし、参考とする件数も少ないので案 2 でいくしかないのではないですか。

〇〇委員：地主さんからしたら 9, 9 0 0 円も安いって言われるかもですね。

事務局：あくまで平均賃借料ということで公表するので。

〇〇議長：このとおりの金額を守らないといけないわけでは無いです。この平均金額を参

考に双方で決めていただくものです。

〇〇委員：翌々考えたら昨年が１０，１００円で米の金額も上がっていつているのに下げるっていうのも考えものですね。来年下がるかもだったら来年下げる方向で考えるとして、現状維持でもいいんじゃないですかね。

〇〇委員：でも、１０年契約になったときは１０，１００円とかよりも押さえて９，０００円とかもあったりしましたよね。

事務局：はい。契約するときに双方納得して９，０００円や８，０００円とかになっていたりします。

〇〇委員：金額の話をするときに先々さがっていくからうちは９，０００円くらいで保証しますよ。もし下がっていても１０年先まで９，０００円ですよ。っていうような話をして契約されているのではないですかね。

〇〇議長：今年に関してはほとんど１０，０００円が多いですね。ただ、今回の資料の中で最大金額として１１，０００円の人もあります。まあ、親戚とかかもですがね。

〇〇委員：田んぼの状況によりますよね。整備された田んぼならいいけど、整備されていない田んぼにその値段を出すのかってなったときはですね。

事務局：金額を下げる理由をきちんと説明して下げる方もいらっしゃいますね。

〇〇議長：平均賃借料は案２ですとして、物納の１０アールあたり玄米で４５～５０kgの分について、皆さんどう思われますか。

〇〇委員：金納も下がったので物納も少し工夫されるのはどうです。近隣で３５kgとか出しているところもあるので。

事務局：先ほどお伝えした内容は今年の話です。近隣は年明けの農業委員会で平均賃借料等を決めているとのことでした。

今後は物納の記載をしないようにするのか、載せるのであればどうするかというところですね。若しくはkg数を入れているところを賃借料の水準と同等とするとかにされるかですね。

そもそも、前までは物納の記載はしてなくて、２年前くらいから要望により載せるようになってます。

〇〇議長：あくまでも参考として提示するものです。45～50 kgにするのか。来年の物納に関する話だからですね。もし、来年米の金額が下がったりしたらこのkg数が適正なのかですよ。このkg数を決めたときは米の値段が大体13,000～14,000円くらいのときに設定したときのものですからね。小作料10,000円として換算してそのくらいということで決めたと思います。

〇〇委員：今のお米の価格が30,000～40,000円とかがあったら10kg20kgとかになる。

〇〇委員：金納より物納の方が儲かるという。計算高い人はそう言います。

事務局：載せてしまうとそうなりますよね。

〇〇委員：金納で1万もらうくらいなら米1俵もらった方が3万になりますからね。3倍の小作料になりますよね。今年は米の価格が上がったからですね。

〇〇議長：私の案としては、45～50 kgを40～50 kgに少し下げるとかですね。

〇〇委員：それか２年前にもどして消すかですね。

〇〇議長：話をまとめますと賃借料については案2でいくとして、物納に関してはもし消した場合は、また、記載するとかは難しいので無難なところで様子見として現状維持とすることとして、来年以降見直すということでよろしいでしょうか。

〇〇継続：賃借料水準相当の記載は消した方がいいのでは、水準相当だったら9,900円と同等になって物納の参考として記載しているkg数と合わなくなってしまうので。

〇〇議長：わかりました。その部分は削除します。

それでは採決をとります。本件について案2に賛成の方は挙手お願いします。全員賛成のため、原案のとおり承認されました。

これで議案第25号を終わります。

〇〇議長：次に協議事項についてを議題といたします。協議事項第1号「農業委員の改選等について」を議題といたします。それでは提案理由の説明を求めます。

事務局：はい。資料10ページをお開きください。

協議事項第1号 農業委員の改選等についてです。

協議事項第1号は総会資料と別にお配りしている参考資料を使ってご説明します。

農業委員等の任期が令和8年7月19日で満了となり、改選を行うために検討していただきたい事項等がありますので、今回協議事項としてあげております。

まず、最初に委員の選出方法が令和2年の改選から公募に変更となった際に令和元年11月の農業委員会総会で決定された内容等についてご説明しますので資料①をご覧ください。

農業委員の定数は、農業委員会等に関する法律第8条及び同法律施行令第5条に基づき上限14名として市町村の条例で定めることとなっております。

本市は総会で川西地区（上底井野、中底井野、砂山、垣生、下大隈）から各1名ずつ、川東地区1名、中立委員1名の計7名を定数とすることが決定し、中間市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例を制定しております。

また、農業委員定数の過半数が認定農業者であることが要件となるため、4名が認定農業者である必要があります。

農地利用最適化推進委員の定数は、農業委員会等に関する法律第18条及び同法律施行令第8条に基づき、農業委員会の区域内の農地面積のヘクタール数を百で除して得た数以下であることとなっております。

本市の農地面積272ヘクタールを100ヘクタールで除した数は2.72人。1未満の端数は切り上げとなり、定数は3名となります。

3名の地区分けについては、令和元年11月の総会で上底井野・下大隈地区で1名、中底井野地区で1名、砂山・垣生地区で1名と決定しております。

次に改選の流れについてです。資料②をご覧ください。

農業委員は農業に関する識見を有し、農地等の利用の最適化の推進に関する事項その他の農業委員会の所掌に属する事項に関し、その職務を適切に行うことができる者のうちから、市町村長が議会の同意を得て任命されます。

農地利用最適化推進委員は、農地等の利用の最適化の推進に熱意と識見を有する者の中から農業委員会が委嘱することとなります。

選出の方法は市の広報、HPで広く周知して自薦及び他薦による公募を行うとともに各地区の生産組合長及び認定農業者協議会へ推薦依頼を行う予定としております。

各地区の生産組合長及び認定農業者協議会につきましては、各地区の生産組合員、協議会員で話し合いのうえ、推薦してもらうこととしております。

改選に関するスケジュール案は、資料②の２ページに記載とおりで、前回の改選と同様のスケジュールで作成しております。

参考資料③につきましては、福岡県農業会議から改選に向けての確認事項等となっておりますのでお読み取りいただければと思います。

今回の検討事項は、農業委員の女性登用についてです。資料③をご覧ください。

先日、九州農政局職員が来庁され、資料④のとおり、国が推奨している委員定数の３０％以上が女性となるよう、女性登用について協力をお願いがなされました。本市は女性農業委員を中立委員として１名を登用している状況を報告したところ、現状維持できれば２名を目標にとのことでしたので、皆様に協議のほどよろしく願いいたします。また、併せて２地区をみている推進委員をどうするのかということで、砂山・垣生地区は２期続いて砂山から出していただいているので、次は垣生地区にされるのか。上底井野・下大隈地区は今回、上底井野地区から出していただいているので、次は下大隈地区から出されるのかということで協議いただければと思います。

説明は以上です。

〇〇議長：はい。ただいま事務局の説明がありましたが、本件について、ご意見ご質問等はありませんか。

〇〇継類：いいですか。農業委員の７人ですけど、各地区から１名ずつと書いておりますけど、私が聞いていたのは砂山と垣生から推進委員と農業委員どちらかをだすという話だったですね。

農業委員は認定農業者が４人いないとなので砂山と垣生からが農業委員と推進委員をどちらかがするという話を聞いたんですけど。任期ごとに話し合って決めていくと聞いていたんですね。砂山と垣生だけがそういう風になっているんですかね。

事務局：資料を見る限りでは推進委員は砂山・垣生でひとくくりなのでそこを話し合ってもらえるのかなと。

〇〇推選委員：垣生地区から農業委員というのは決まっていなかったのではないですか。

事務局：当時の資料では各地区から一人ずつとなっています。

〇〇推選委員：私が初めて推進委員になったときに聞いたのは、垣生と砂山のどちらから推進委員、農業委員をだすと。垣生地区には認定農業者はいないですね。だから砂山と垣生地区からどちらかが農業委員してどちらかが推進委員をするという風に聞いたんですけど。

〇〇議長：私はそういう記憶はないですけど。ただ地区分けすると生産組合の関係で垣生から出すから、砂山地区からは自動的に認定農業者になるのかなと

〇〇推選委員：そうではなくて。砂山と垣生で話し合っただけでどちらからかがと聞いてます。ほかの地区は認定農業者がいないとなので。垣生地区だけなんですね。認定農業者がいないの。そういう風に聞きましたけど。

〇〇議長：地区での話だと思うので私は知らないです。

〇〇推選委員：認定農業者については認定農業者協議会から出してもらおう。垣生地区から出すというのでは無く、垣生・砂山からどちらかを出すということで聞いています。

事務局：手元の資料1というのがあります。これは議事録に基づいた資料でありまして、当時の農業委員会の皆様に決めたのが各地区から1名ということで議事録が残っております。ただ、今後どうやっていくかというところは、この内容を変えるのであればこの場で話し合ってもらえればと思いますし、先ほどの話のようなことであれば、皆さんが納得していただけるのであれば議事録にも残して引きついでいこうと思っております。

〇〇推選委員：議事録がどうのとかは知りませんが、私になったときはそういう説明でなってます。認定農業者は4名と。垣生から一人農業委員を出すという話では無かった。

事務局：今私が説明した内容は農業委員会で当時の農業委員が話し合った議事録がこのようになっているということが1点と認定農業者が半数を占めないといけないというところもあるんですけども推薦・公募についてはどなたが申込されても

いいんです。そのあとに選考委員会で決めていきます。

〇〇継類：だからそれはあくまで認定農業者協議会からでてくるのについては、とおすということですか

事務局：点数を付けて判断します。認定農業者協議会から推薦されたときの点数と生産組合から推薦されたときの点数は同じです。ただ推薦された方の農業従事者の状況等、その他也踏まえた上でどなたを農業委員とするかは、選考委員会で決めているというところです。

〇〇継類：じゃあ、私が推進委員に就いたときに聞き間違いだったってことですか。

事務局：説明間違いの可能性もあるかと思います。

〇〇継類：農業委員が砂山から2人出て、垣生から推進委員ができれば砂山から認定農業者の農業委員とそうでない農業委員。認定農業者が2人出てでもいいんですけど。認定農業者協議会からの推薦でなくても認定農業者がでてもおかしくは無いと思うんですよね。私はそういう風に聞いたんですけどね。

事務局：それで私どもも調べたところこの資料の形で残っていたのでそれを説明した次第です。今回〇〇委員が欠席されているのでその部分もどうするかですね、農業委員会の皆様で話し合ってもらえればというところなんです。

〇〇継類：反対に言えば砂山から推進委員がでなくて、垣生から農業委員と推進委員がでてもいいってことですよ。

〇〇議長：委員の申込は自薦・他薦できるからですね。

〇〇継類：そういうことではなくて。私は砂山と垣生のどちらかということでは言われたんですよ。垣生が農業委員になるんだったら砂山が推進委員ですよ。砂山が認定農業者以外の人で農業委員をやれば垣生は推進委員で、垣生は農業委員がいなくなるんですよ。

〇〇議長：2人、3人何人でも立候補してもいいんですよ。過去にもありましたよね。自薦・他薦で生産組合が推薦するのがですね。ただ最終的には選考委員会で決ま

るからですね。

〇〇推選委員：でもあれでしょ。川東地区1名とかいうのも各地区の生産組合から出てきたのを点数付けてやっていくということですよ。

〇〇議長：そうです。以前もありました。生産組合から別々の方がそれぞれ推薦されていて、それを選考委員会等で決定してますので、何人出されてもいいとは思いますが。

〇〇推選委員：ただ自分が聞きたいのは、もう2期やっているのですせんは別として、そのところはっきり聞いて、砂山生産組合にはっきり伝えとかないといけないんですけど。今まではそういう風に説明していたんですけど。

事務局：調べた結果がこの資料になります。その説明がきちんと伝わっていないのかと思っていたのですが、議事録等を調べる限りですとこのようになっています。

〇〇推選委員：議事録っていうと農業委員の人数を変更したときのですか。

事務局：はいそうです。そのときの農業委員で話し合った内容がこの資料になりますので。今後もこういう形ですのかということもございましたので、それで今回、農業委員会の選出についてどのように進めていったら良いかということで協議事項としてあげた次第です。

〇〇推選委員：だったら、砂山でもよその地区でも推薦されれば最終的には点数等つけてそれでいくということですね。だけど認定農業者だったら通さないといけないでしょう。

事務局：半数が認定農業者である必要がありますから。

〇〇推選委員：なら点数はうんもすんもないやないですか。

事務局：申込者の方が認定農業者であればその分の点数がつきます。

〇〇推選委員：最初の時にそういう話を聞いたんですけどね。やけ、次の任期が切れたときに垣生とどちらにするかって話で。垣生は認定農業者で無い農業委員か推進委員という認識でいました。

〇〇〇委員：垣生に出せる人がおらんので、砂山から認定農業者の農業委員と推進委員がでて、垣生からは認定農業者でない農業委員という形に今なってるんでしょうね。

〇〇〇委員：議事録には垣生から農業委員を1名出さないけんってなってるんでしょう。

事務局：農業委員会の話し合いの中でそういう取り扱いにしようという話ですね。それともうひとつ、女性農業委員についてですね。全体の3割を目標にということなので。福岡県農業会議での研修でも今後の課題としてよくあげられております。

〇〇〇委員：そういうことになれば、垣生を落とすしかないということではないですか。

〇〇〇議長：ちょっといいですか。〇〇委員はまだ総会に参加できない状況です。電話で話したんですが、本人はもうできないかもというような話も出てきてます。

〇〇〇委員：地域計画のときの話し合いでは、垣生地区は生産者がいないので今後は砂山地区にお願いしますというような話を聞いていたのですが。

事務局：今回〇〇委員が会長に今後どうするかは会長に一任しているとのことでした。

〇〇〇議長：はい。電話で自分はもう続けるのは難しいので、今後どうするかは私に一任するというような話があってます。もし、垣生からだれも出さないのであれば女性枠をとという話はしてますが、そしたら垣生地区の女性で探しますというような回答だったので。まだその部分を話し合うんですよという説明はしているんですけどね。

〇〇〇委員：そもそも、自分が聞いた話と全然違うということですね。

〇〇〇議長：そのとき説明された方がもしかしたら勘違いされていたのかもしれないですね。

〇〇〇委員：女性候補者が出てくるのはいいですね。

〇〇〇委員：砂山から。まあ外の地区からもですけど。農業委員を出そうとしたら認定農業

者しかできないようなそんなやり方はどうなんですかね。

事務局：市としてはまず、生産組合の方に推薦のお願いを行うこととしております。

〇〇委員：最初の時は生産組合から推薦とか無かったですよ。

事務局：最初がどうだったかというところはございますが、生産組合の中に市内の農業者の方がおられるからですね。まずは生産組合に推薦の依頼をと思っているところです。

〇〇議長：私個人としては垣生地区の意向を確認した上でその枠を女性枠にできればなという思いがあります。

委員：生産組合に依頼したらどうですか。

事務局：そもそも各地区の生産組合長と認定農業者協議会には推薦依頼を行うこととしております。

〇〇議長：〇〇委員からは落ち着いたら話しますというようなことを言われましたが、いつになるかがわかりません。

〇〇委員：それを待ったところで、女性枠を作ろうとしたら認定農業者がいない地区をそうするしかないのでは。国が認定農業者が半数以上いるという決まりがあるんだから。認定農業者がいる地区が4つしかないでしょう。地区の縛りはないとはいえ、一つの地区から4人も農業委員になるというような話にはならんでしょう。

事務局：選考委員会でも、農業委員会で各地区から農業委員をだしましょうという話になっているということを基に諮っていきたいというところです。

〇〇議長：推進員については認定農業者でなくていいけれど、手当は農業委員と同等にして、そのかわり総会には出席してもらうこととしております。他の市町村は必要な場合のみ出席するということになってますけど。

〇〇議長：見直してもいいんですけど。これは今月決めとかないけないんですかね。

事務局：来月の総会までに、農業委員会の皆様で考え方の案と推進委員の砂山・垣生地区をどうするかを決めていただきたいと思います。

〇〇議長：今回の協議事項については、垣生地区の意向を確認した上で決めたいと思いますので、来月の総会に持ち越します。皆様方も情報を集めていただければと思いますのでよろしくお願いします。

〇〇議長：続きまして、「その他」を議題といたします。何かご意見はありますか。

事務局：-令和7年度福岡県農業委員会研修大会について-
-1月総会について-

〇〇議長：以上で「その他について」を終わりたいと思います。

次に、議事録署名委員の指名を行います。

議事録署名委員は会議規則第9条により議長において、〇〇委員、〇〇委員を指名いたします。

以上をもって全日程を終了いたしましたので、本日の会議を閉会いたします。

お疲れ様でした。